

11月は長崎県ケアラー支援月間です

## 長崎県ケアラー支援シンポジウム2025

# ひとりにしない、社会で支える ケアラー支援

働きながら介護をする人も、子育てと介護を同時にする人も、  
大人に代わって家族のお世話をする子どもも。  
みんなでケアラーを支える社会を目指して。

●日時：2025年11月15日(土)13:30~16:00

●場所：長崎県庁302~305会議室(長崎市尾上町3番1号)

※基調講演のみライブ配信を行います。

### 基調講演

「介護離職問題から考えるケアラーへの支援について」

株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役  
和氣 美枝 氏

### セミナーA

「支援が必要な子どもを持つ  
ケアラーに対する支援について」

NPO法人長崎ファミリーハウス 副理事長  
夢田 ひとみ 氏  
高次脳機能障害小児家族会  
「よりよりホームズ」副会長  
西川 友子 氏

### セミナーB

「ヤングケアラー支援について考える  
～『子どもの貧困』の視点から～」

長崎大学教育学部 准教授  
小西 祐馬 氏

### 【司会・コーディネーター】

社会福祉士事務所 まきの木 代表 毛利 真紀 氏

●詳細やお申込み方法は、裏面をご覧ください。

# 長崎県ケアラー支援シンポジウム2025

## ひとりにしない、社会で支える ケアラー支援

家族の介護等を行うケアラーが、  
誰にも頼れずに孤立したり、  
心身が疲弊してしまうことが問題となっています。  
県では11月を「長崎県ケアラー支援月間」とし、  
社会全体で支える仕組みの構築に取り組みます。

### 基調講演

ライブ配信あり

#### 「介護離職問題から考える ケアラーへの支援について」

株式会社 ワーク&ケアバランス研究所 代表取締役

和氣 美枝氏

一般企業での勤務中、母親の突然の発病により  
介護生活が始まり、介護離職を経験。その後、  
自身の苦しい体験を通じて「介護者が孤立せず、  
自分らしく生きられる社会」の必要性を痛感し、  
「ワーク&ケアバランス研究所」を設立。  
介護と仕事の両立支援を軸に、企業向けセミナー  
や相談窓口の運営、現役介護者としての実体験  
を活かした講演活動や、介護者支援の現場に  
寄り添いながら働く介護者の声を社会に届ける  
活動を展開している。



### タイムスケジュール

- 13:00 受付開始
- 13:30 シンポジウム開始・基調講演
- 14:45 休憩
- 15:00 テーマ別セミナー
  - A: 支援が必要な子どもを持つケアラーに  
対する支援について
  - B: ヤングケアラー支援について考える  
～「子どもの貧困」の視点から～
- 16:00 シンポジウム終了

【司会・コーディネーター】  
社会福祉士事務所 まきの木 代表  
毛利 真紀 氏

※テーマ別セミナーは、申込み時にA・Bのどちらかひとつ  
を選択いただき、希望する方に参加していただきます。

※基調講演のみライブ配信を行います。  
テーマ別セミナーを含む全体の映像は、後日公開します。

### セミナーA

ライブ配信なし  
映像は後日公開

#### 「支援が必要な子どもを持つ ケアラーに対する支援について」

支援が必要な子どもの支援に携わる県内団体に、活動の内容や  
日々の活動の中で感じていることなどをお話し頂き、ケアラー支援  
の大切さについて理解を深める機会とします。

NPO法人 長崎ファミリーハウス

副理事長 多田 ひとみ 氏

長崎ファミリーハウスは、長期入院を余儀なくされている  
子どもたちとその家族の精神的・経済的な負担を軽減する  
ことを目的とした宿泊施設。  
入院中の子どもに寄り添う家族がゆっくりくつろげる  
「第2の我が家」として、安価で提供している。  
離島をはじめとした県内各地のほか県外からの利用もあり、  
延べ利用者は1,800名を超える。(令和7年8月時点)

高次脳機能障害小児家族会  
「よりよりホームズ」副会長

西川 友子 氏

よりよりホームズは、交通事故や脳卒中などにより記憶や  
思考の機能が低下する「高次脳機能障害」をもつ子どもと  
その家族が悩みごとや気持ちを共有する場として令和4年  
5月に発足。  
親同士の話し合いや情報交換、高次脳機能障害を持つ  
当事者やきょうだいを含めた交流会などを定期的に開催  
している。高次脳機能障害と診断されていない方、高次脳  
機能障害をもつ大人も参加可能。



### セミナーB

ライブ配信なし  
映像は後日公開

#### 「ヤングケアラー支援について考える ～『子どもの貧困』の視点から～」

ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちが抱える日々の負担や悩み  
を正しく理解し、共感を深めるとともに、「子どもの貧困」の視点か  
ら、ヤングケアラーにどのような支援やサポートが必要かを考えま  
す。

長崎大学教育学部准教授

小西 祐馬 氏

長崎大学教育学部准教授。専門は児童福祉・  
貧困研究。  
「子どもの貧困」についての研究や、困難にある  
子ども・家族に対応できるような保育者・教員の  
養成に取り組んでいる。

主な著書(編著)に、『シリーズ子どもの貧困②  
遊び・育ち・経験——子どもの世界を守る』  
(明石書店)、『貧困と保育』(かもがわ出版)など。



### 申込方法

会場、またはオンラインで参加できます。二次元バーコードまたは  
URLから申込フォームにアクセスのうえ、必要事項を入力してお申込みください。  
<https://forms.office.com/r/RrjVAEWA9a>

参加申込フォーム



### 会場

長崎県庁302～305会議室(長崎市尾上町3番1号)

\*お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

長崎県長寿社会課 ☎095-895-2434